

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月22日更新

事務事業名		文化財保護協会等参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	上原哲也
	施策	24	歴史と伝統文化を活かした郷土愛の醸成			所属課	生涯学習課	担当者名	森田由貴恵
	基本事業	79	歴史と伝統文化(文化財を含む)の保護			所属班	生涯学習班	(内線)	1513
予算科目		会計一般	款10	項5	目7	事業連番10946	法令根拠	文化財保護法	成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 <small>(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)</small>	文化保護に関する相互の情報共有のため、市町村文化財担当者連絡協議会、県文化財保護協会、県博物館連絡協議会へ参画する。文化財の保護・活用に関する知識の習得と近隣市町村との情報交換を目的として開始された。関係法令の改定により、文化財として保護される対象が徐々に拡大しており、文化財保護に関する幅広い知識と対応が求められている。
【業務の流れ】	各種協議会での情報交換、研修への参加。
【主な予算費目】	負担金補助および交付金(負担金)
【意見や要望】 <small>関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?</small>	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
熊本市市町村文化財担当者連絡協議会、熊本県博物館連絡協議会、熊本県文化財保護協会に参画した。		昨年と同様に、各種協議会へ参加予定。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:研修等参加回数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	文化財担当者文化財保護委員会	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		→ア:文化財担当職員の数
		→イ:文化財保護委員の数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	文化財保護に関する知識を身につける	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		→ア:新たな知識を身につけた職員・委員の割合
		→イ:
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
文化財保護に関する知識を身につけることで、重要性を認識できるために設定		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度実績(決算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	26年度予定	27年度見込	28年度見込
①活動指標	ア	回	10	10	10	10	10	10	10	10
	イ									
②対象指標	ア	人	2	2	2	2	2	2	2	2
	イ	人	8	8	8	8	8	8	8	8
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	61	61	61	61	61	61	61
		(A)事業費計	千円	61	61	61	61	61	61	61
		(A)のうち指定経費	千円	61	61	61	61	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	3	2	4	2	2	2
(B)人件費計	延べ業務時間	時間	10	110	200	120	200	200	0	
	(B)人件費計	千円	41	444	807	488	807	807	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	102	505	868	549	868	868	61	

事務事業名	文化財保護協会等参画事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 文化財保護委員は、積極的に研修参加、文化財調査をするなど資質向上に努めている。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 毎年実施できているので、本年も見込みがある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 研修等には、業務に差支えない範囲で可能な限り参加し、知識の習得および情報交換に努める。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業なし	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 事業費は、負担金や最低限の旅費、資料代などの必要経費であり、削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 担当者及び文化財保護委員で参加している。研修及び会議の時間は決まっているので、削減の余地なし。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 職員や委員が研鑽を積むことで、その成果が文化財保護行政に還元されるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 職員や委員が研鑽を積むことで、その成果が文化財保護行政に還元されるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

職員・委員共に研修に参加し文化財保護の知識を身につけることが出来た。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						